

## 第4回

第2次安城市市民協働推進計画策定のための

## 協働井戸端会議

2017.05.27.Sat

## かわら版

地域課題解決のための協働事業アイデアを絞り込み、  
具体的な提案をシートに整理しました！

スタッフ含め参加者の総数は32名でした。

“第4回協働井戸端会議”を5月27日に開催しました。  
第8次安城市総合計画の5つの分野「健康」、「環境」、  
「経済」、「きずな」、「子ども」ごとに整理した『地域課題  
解決のための協働事業・取組のアイデア』を絞り込んで、具  
体的な提案に仕上げる作業を行いました。  
さいごには、各グループの発表を行い、それぞれの提案へ  
の講評を行いました。



## 第4回 協働井戸端会議

日時：平成 29 年 5 月 27 日（土） 13:30～  
場所：安城市民交流センター 多目的ホール

## 【プログラム】

1. 開会・あいさつ
2. 本日のプログラム説明
3. 前回のふり返り
4. 本日の会議のポイントと位置づけ
5. グループワーク1  
協働事業・取組アイデアの確認、追加
6. グループワーク2  
協働事業・取組アイデアを具体化しよう！
7. 発表タイム&講評会
8. 事務連絡・閉会

## 【協働井戸端会議からの提案(協働のテーマ)】

健康	☆ 協働でつくりあげる、ウォーキングイベントの開催
環境	☆ あんくるバス・タクシーを使ったツアーをやる
経済	☆ 安城市にお金が落ちる仕掛けづくり ～デンパークを核として～
きずな	☆ 町内会組織への女性の登用に向けた取組 問題を解決するのに女性を入れて！ ～きずなづくりと地域課題解決は女性の活躍から～
子ども	☆ 子どもたちの本音をしっかりと聴いてみよう！ “子どもたちのためのしゃべり場”

# グループワーク 協働事業・取組アイデアを具体化しよう！

協働井戸端会議からの提案をプロジェクトシートに整理しました。

## 健康



### ■協働のテーマ 協働でつくりあげる、ウォーキングイベントの開催

- (ねらい) ・ウォーキングを通して、健康習慣づくりに取り組む。  
 (協働の主体) ・市民団体、NPO、町内会、老人クラブ等の市民に行政が参加する実行委員会を組織し開催する。

《実行委員会》 ・市民団体 (歩け歩け運動関係者等)  
 ・NPO ・老人クラブ ・町内会 ・企業 ・学校 など  
 ・市 (健康推進課、スポーツ課)

- (主な取組) ・史跡巡り (地元の人が案内人)、健康診断サービスを同時開催  
 ・あんじょう健康マイレージのポイント付与

## 環境



### ■協働のテーマ あんくるバス・タクシーを使ったツアーをやろう

- (ねらい) ・あんくるバス・タクシーの利用のきっかけをつくりたい。  
 ・安城の原風景が残されているが、知らない人が多い。

(協働の主体)

・あんくるタクシーの運営会社 × ・原風景見学ツアーを実施している市民活動団体

- (主な取組) ・あんくるバス、タクシーを利用してもらう。きっかけづくり。  
 ・安城市内で原風景を残すところをガイド付きで回る。  
 ・バスルートについて、参加者から意見を集めることができる。

## 経済



### ■協働のテーマ 安城市にお金が落ちる仕掛けづくり ～デンパークを核として～

- (ねらい) ・市外から人を呼びお金を落としてもらう仕組みをつくる。

(協働の主体)

・デンパーク × ・アンフォーレ ・商店街  
 ・JA、農家 ・企業

- (主な取組) ・七夕飾り作り体験 (夏は「安城七夕まつり」の竹飾り、冬はデンパークの竹明かりを入れて「イルミネーション」に)。  
 ・農業体験 (食べるから始めて、収穫する、育てるまで体験)  
 ・ビールオーナー制度 (作り方を学ぶ、ビールコンテストなど)。

## きずな



### ■協働のテーマ 町内会組織への女性の登用に向けた取組

問題を解決するのに女性を入れて！ ～きずなづくりと地域課題解決は女性の活躍から～

- (ねらい) ・町内会 (地縁組織) における女性の活用、多様な価値観の反映。  
 (協働の主体) ・町内会と男女共同参画で実績を持つ「さんかく21安城」が関係を持ち、行政も関与して、女性の登用に向けた取組を展開する。

・NPO (さんかく21安城) × ・町内会

- (主な取組) ・講演会・講座の開催 (地域福祉・防災など身近な話題で開催)。  
 ・「男女共同参画」を直接テーマとして扱うのではなく、例えば、避難所運営など訓練の機会に女性に役割を任せていく。

## 子ども



### ■協働のテーマ 子どもたちの本音をしっかりと聴いてみよう！ “子どもたちのためのしゃべり場”

- (ねらい) ・子どもたちの本音を聞くことから問題点を見つける。  
 (協働の主体) ・本音を発信できる場・機会を用意する。一方のパートナーは、子どもの本心をしっかりと聴き、問題点を見つけ対応を考える。

・子ども (学校、子ども会など) × ・子育て支援を行っている団体  
 ・NPO、子育て支援課

- (主な取組) ・集まった子どもたちで話し合う場をつくる。  
 ・アンケート方式でも意見を集めることができる。

第5回は、『協働井戸端会議からの提案の練り上げ』をテーマに7月15日(土)に開催します。